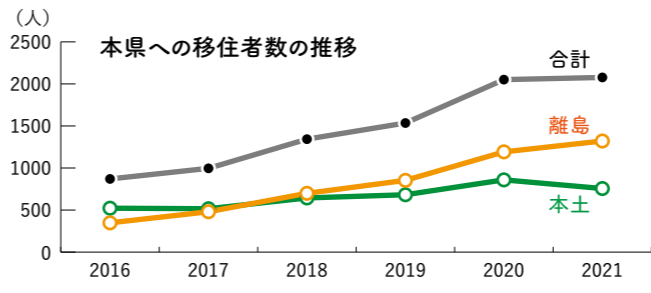




霧島市での暮らしを満喫している江口弾さん・美紗稀さんご夫婦と愛犬「やど」くん(1歳)。弾さんは東京の会社にリモートワークで勤務している。



全国的に「地方回帰」の気運が高まっている中、若い世代を中心に都市部から地方へ移住しようとする動きが見られています。本県への移住者数も増加傾向にあり、また最近では、離島地域への移住者数が伸びています。

「コロナ禍で加速する」地方回帰

魅力あふれる
かごしまに
移住しませんか

人口減少等に伴い、地域の課題を自ら解決することが困難な地域もあることから、それぞれの地域においては、地域課題の解決に向け、地域住民だけでなく地域外の人材を活用し、取り組みも重要となっています。県では、本県への移住を促進するため、市町村と連携して、移住に関する情報発信や相談対応に取り組んでいます。

1 情報収集をしましょう

移住に関すること

鹿児島県内の市町村情報や各種支援策、移住セミナーといったイベント情報などを掲載しています。移住先を比較検討するまとも記事「かごしま移住旅日記」も必見です。

今年2月リニューアル!

就職に関すること

鹿児島県内の企業や求人の情報を掲載しています。「移住支援金」の対象となる求人も掲載しています。

今年2月リニューアル!

2 窓口で相談してみよう

移住相談

／かごしま「よかところ」暮らし支援センター

鹿児島県への移住に興味のある方や移住を検討している方などに対し、専門の相談員が生活環境や住まい、移住支援など、幅広い相談に応じています。

場所／認定NPO法人ふるさと回帰支援センター内
(東京都千代田区有楽町2-10-1東京交通会館8F)
☎ 080-7731-7915(担当者直通)
✉ kagoshima@furusatokaiki.net
相談時間／火曜～日曜
10:00～18:00
(祝日、年末年始を除く。)
※火曜日は他のセンター職員が対応します。



就職相談

／ふるさと人材相談室

UIターン希望者に対し、求人情報の提供や就職相談・職業紹介を行っています。相談は、電話やメールでも受け付けています。

場所／県庁商工労働水産部
産業人材確保・移住促進課内
☎ 0120-445-106(携帯・スマホ:099-250-6855)
✉ f-jinzai@pref.kagoshima.lg.jp
相談時間／月曜～金曜 8:30～17:15
(祝日、年末年始を除く。)

3 実際に現地に行ってみよう

雑誌やインターネットで調べた情報だけでは、その地域での実際の暮らしはわかりません。移住したい地域が見つかったら、まずは自分の目で、その地域でどんな生活ができるのか、具体的にイメージしながら確認してみましょう。

チェックポイント

- 交通の便は?
- 買い物する場所は?
- 子育ての環境は?

「ワーケーション」で、かごしまに来てみませんか?

「ワーケーション」とは、ワーク(仕事)とバケーション(休暇)を合わせた造語で、普段の職場とは異なる場所で「休暇」を楽しみながら、テレワーク等を活用して好きなときに「仕事」を行う柔軟な働き方のことです。

デジタル化によりテレワークが普及し、ワーケーションが注目されています。魅力あふれるかごしまでワーケーションをしてみませんか。



4 いよいよ移住!

住む場所、仕事が決まったら、いよいよ移住! 新しい土地でそれぞれの移住ライフを満喫しましょう。



15ページの「Kagoshima Live」では、実際に鹿児島へ移住した方の暮らしぶりをご紹介します。